

## 平成26年度 第1回企業倫理委員会 議事概要

1. 日 時 平成26年6月6日（金） 10:00～11:40

2. 場 所 中国電力株式会社 本社1号館12階特別会議室

3. 出席者

（委員長）	山下 隆	会長
（副委員長）	馬場 則行	弁護士
（副委員長・幹事）	松村 秀雄	常務取締役（コンプライアンス推進部門長）
（委 員）	今中 亘	中国新聞社 特別顧問
	磯村 定夫	中国地域ニュービジネス協議会 参与
	荻田 知英	社長
	白築 透	中国電力労働組合執行委員長
（オブザーバー）	岩崎 恭久	常任監査役
（説明者）	藤井 弘昭	執行役員 コンプライアンス推進部門部長（コンプライアンス） 兼、原子力強化プロジェクト専任部長

4. 議事要旨

### 【委員長あいさつ】

今夏の電力需給については、国内全ての原子力発電所が停止している中で大変厳しい状況が予想されている。当社の見通しにおいても、予備率は至近3年で最も低く、更に震災以降、火力発電をフル活用する緊急避難的な対応が続いている。余裕を持って乗り切れる状況とは言えないが、当社サービス区域のお客さまに安定して電気をお届けすることはもちろん、最大限の応援融通により、西日本全体の安定供給にも貢献できるよう全力で取り組んでまいりたい。

島根原子力発電所の状況については、原子力規制委員会による適合性審査における発電所周辺の活断層評価に関するご指摘を踏まえ、先月から、地質データを拡充するための追加調査を開始した。当社としては、計画中の調査に留まらず、より一層安心していただける発電所とするため、更なるデータ拡充に向けた調査についても検討・実施してまいり所存。

コンプライアンスについては、今年度の重点課題として、グループ会社の管理・指導面の強化を掲げており、この4月に、「コンプライアンス・リスク管理責任者会議」を発足した。また、各社で選任されたコンプライアンス・リスク管理責任者に対し、事案発覚時には速やかに当社へ報告するよう徹底し、先日、報告された個別事案を取りまとめ、水平展開を行ったところ。

当社としては、引き続き、コンプライアンス・リスク管理責任者会議やグループ各社への個別訪問等の機会を通じて、各社との連携強化を図りつつ指導・支援の一層の充実を図っていく。

## 【1. コンプライアンス推進の取り組み状況について】

島根原子力発電所点検不備に対する取り組み状況，コンプライアンス推進施策の主な実施内容について説明した後，議論を行った。

### <主な意見>

#### 〔島根原子力発電所点検不備に対する取り組み状況について〕

- 点検不備に対する取り組みは計画どおり実施され，順調に推移している。引き続き，各種施策において，マンネリ化防止の工夫を織り込むとともに，小さな兆候に対しても気を抜くことなく，着実に進めてもらいたい。

#### 〔コンプライアンス推進施策の主な実施内容について〕

- 社員研修について，点検不備問題や土用ダム問題等を知らない世代がこれから増えていく中で，社員の意識を高く維持していくために重要なことは，中国電力が何故コンプライアンスを最優先としているかという認識を共有することである。
- グループ会社の管理・指導面の強化策として，定期的に個別事案の水平展開を行うこととしているが，大切なのは，事案発生後にどのような対応処置を行ったかという点であり，各社が参考になる好事例が展開されることを期待している。

## 【2. 内部通報制度の運用状況について】

平成26年2月～平成26年4月における内部通報制度の運用状況について説明した後，議論を行った。

### <主な意見>

- 今回および平成25年度全体の件数をみると，前年度と同程度の相談が寄せられており，制度は確実に定着していると見ている。対応についても，真摯にかつ短期間で処理されており，適切に機能していると思われる。

以 上

(添付資料)

資 料 「コンプライアンス推進の取り組み状況について」